

政策体系コード	政策体系名称	事業名称	細事業名称	本年度事業費 (千円)	本年度県費 (千円)	事業概要(目的)	部局名称	所属名称
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	林業技術開発推進費	野外型簡易施設を利用したきのこ栽培技術の開発事業費	420	420	野生株や原木栽培品に近く、大型で日持ちの良いヒラタケ及び、美味であるがスギ林等にしか生えない貴重なオオイチョウタケ等について、森林や半自然施設を利用し、栽培コストを削減した栽培技術を開発します。	環境森林部	環境森林部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	林業技術開発推進費	尾鷲ヒノキの材質特性の把握と新たな機能性部材の開発事業費	1,096	1,096	尾鷲ヒノキの風合いや香りなど、木材自身が持っている良い性能をうまく活用しつつ、表面圧密や無機質複合化など新たな表面改質技術により、表面硬さや汚れの浸透防止などの性能を改善することで、床材や机など内装材や家具等への利用に適した機能性部材の開発を行うとともに、尾鷲ヒノキブランドの再構築を図るためヤング係数、容積重など材質特性の把握などを行い、品質規格化に資します。	環境森林部	環境森林部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	林業技術開発推進費	ハタケシメジ新品種確立と現場移転技術の開発事業費	718	359	ハタケシメジの品種登録や新たな栽培技術の開発を行うとともに、ハタケシメジ菌床袋栽培による上面発生技術を確立し、生産現場への移転、定着化を促進します。	環境森林部	環境森林部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	林業技術開発推進費	長伐期化に対応した森林管理・中大径材利用技術の開発事業費	1,241	1,241	長伐期化に対応した森林管理技術の開発 長伐期化の傾向にある県内人工林の適切な管理、資源量の正確な把握を行うために、成長特性解明や三重県独自の長伐期化に対応した林分収穫表及びシステム収穫表の作成を行います。 長伐期化に対応した中大径材利用技術の開発 長伐期化に伴い生産される県産中大径材の梁・桁材への利用拡大を図ることで、県産材の需要拡大に貢献することを目指し、中大径材の強度性能やその接合方法等を検討するとともに、木造建築設計時に活用できる三重県産横架材のスパン表を作成します。	環境森林部	環境森林部

政策体系コード	政策体系名称	事業名称	細事業名称	本年度事業費 (千円)	本年度県費 (千円)	事業概要(目的)	部局名称	所属名称
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	林業技術開発推進費	スギ梁桁材の効率的乾燥技術に関する研究事業費	2,202	1,101	長伐期人工林から生産される中・大径丸太を梁桁材として利用拡大するために、県内で実施されている乾燥方法・施設(天然乾燥、蒸気式等)により乾燥可能な乾燥条件を検討することによって、スギ梁桁材の乾燥技術を確立し、梁桁材乾燥マニュアルを作成します。	環境森林部	環境森林部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	林業技術開発推進費	ニホンジカの生息密度管理と森林被害防除に関する研究事業費	2,542	1,271	ニホンジカによる林業被害が深刻化しているため、簡易なシカの生息密度把握法を確立し、現在実施されている糞粒法誤差の補正法を作る。また、森林被害量についても簡易な評価法をつくる。さらに捕殺が生息数と被害量の推移に与える影響を調査し、特定地域ごとに生息密度と被害量の変動の実態を明らかにし、被害軽減策としての捕獲の役割を評価します。	環境森林部	環境森林部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	農業技術開発推進費	農業関係県単経常試験研究費	3,160	3,160	県内農業で問題となっている課題について緊急に解決を必要とする試験を行う。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	農業技術開発推進費	農業受託研究事業費	12,292	0	新規に開発されつつある殺菌剤・植物生育調節剤、除草剤、肥料等の新資材、ならびに、国等で育成中の品種系統に関し、農薬登録あるいは品種登録に必要な効果・薬害・特性等について、三重県における適応性を試験する。	農水商工部	農水商工部

政策体系コード	政策体系名称	事業名称	細事業名称	本年度事業費 (千円)	本年度県費 (千円)	事業概要(目的)	部局名称	所属名称
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	農業技術開発推進費	新品種開発事業費	2,276	2,276	産地間競争に対応できる三重県独自の特産物育成を目的として、重要品目である米、カンキツ、イチゴ等の新品種を育成します。米では良食味で早生～中生品種を、カンキツでは極早生ウンシュウおよび中晩柑類の高品質品種を、イチゴでは低農薬栽培が可能な複合病害抵抗性を有した高品質品種を開発します。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	農業技術開発推進費	地域園芸ブランド強化技術開発事業費	1,260	1,260	地域園芸ブランドとしてその価値を高めるために、ブドウでは果実の粒販売を目的とした生産技術の確立、三重サツキの三重ブランド認定のための環境にやさしい30%原肥技術の確立、観葉植物の省力安定生産のための養液管理技術の開発、紀南地域活性のための柑橘に次ぐアテモヤの高品質生産技術を開発します。(1)ブドウ新品種・粒販売に対応した大粒化技術確立事業(2)三重サツキのブランド品目化に向けた環境保全的施肥技術の確立と新品種の育成(3)観葉植物の効率的な養液栽培技術の開発(4)アテモヤ高品質安定生産技術の確立	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	農業技術開発推進費	伊勢茶リフレッシュ支援技術開発事業費	3,581	3,581	「やぶきた」への過度の集中を避けるため、伊勢茶リフレッシュ運動に応えることができる新品種を選定するとともに、新品種の特性、育苗法、最適密度を明らかにする。また、かぶせ茶栽培技術の高度化、茶生産環境のリフレッシュ技術の開発に取り組む。	農水商工部	農水商工部

政策体系コード	政策体系名称	事業名称	細事業名称	本年度事業費 (千円)	本年度県費 (千円)	事業概要(目的)	部局名称	所属名称
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	農業技術開発推進費	新しい三重の酒造好適米の地域特産化事業費	1,081	1,081	実需者から要望の高い、優れた酒造好適性をもつ一般酒原料用の水稻品種開発に応えるため、現在保持している有望な酒造好適米系統の実用規模での酒造適性の検討及び栽培適性の検討を行うことにより新品種を育成する。新品種を導入することで、地域特産酒の開発が契機され、さらに県産日本酒の品質向上と消費量の拡大が期待できる。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	農業技術開発推進費	東紀州地域のカンキツ産業活性化のための技術開発事業費	2,237	2,237	カンキツ産業は東紀州地域の基幹産業であり、その低迷は地域経済に及ぼす影響も大きい。そこで東紀州地域のカンキツ産業の活性化のために、三重県育成のオリジナル新品種の栽培技術を確立し、現地へ移転する。また、カンキツの商品性を高めるために、現在栽培されている主要品種について完熟生産技術を開発する。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	農業技術開発推進費	花植木新技術定着化事業費	66	66	花き花木の生産農家を対象に、花き花木に関する研究成果移転のため、研修会、技術展示、実証圃の設置、技術相談、情報の提供を行い、産地の安定化を図る。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	畜産技術開発推進費	畜産関係県単経常試験研究費	21,792	207	畜産業の動向と発展に照らして、重要な試験研究課題で普及・指導・奨励等行政に直接役立つ技術の確立のための試験研究を効率的に推進する。	農水商工部	農水商工部

政策体系コード	政策体系名称	事業名称	細事業名称	本年度事業費 (千円)	本年度県費 (千円)	事業概要(目的)	部局名称	所属名称
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	畜産業技術開発推進費	耕畜連携による粗飼料生産と乳牛への給与技術の開発費	6,893	0	水田で生産される粗飼料の高品質化と栄養価の向上を図るとともに自給粗飼料多給型乳牛飼養技術を開発する。このことにより、飼料自給率の向上を図り、資源循環型酪農を確立する。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	畜産業技術開発推進費	牛肉のおいしさ成分研究事業費	1,436	1,436	県内産和牛枝肉について、遊離アミノ酸、イノシン酸等のうま味成分の分析及び人による官能評価等による味覚の判定を行い、それぞれの分析値とその関係性を考察し、脂肪質の研究で蓄積したデータも加えて、おいしさ要素を総合的に解析する。そして、飼養管理等の肥育方法を検討し、場内での肥育試験を実施する。さらに、松阪牛肥育農家での実証試験も行う。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	畜産業技術開発推進費	牛胚活用新技術開発費	2,145	1,345	牛胚の新たな活用方法を検討し、農家経営の改善とブランドの維持・向上に貢献できる技術開発を行う。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	水産業技術開発推進費	水産関係県単経常試験研究費	5,165	4,165	クエ・マダイ等の養殖技術開発、英虞湾におけるプランクトン・水質等の情報提供や基礎的な調査・試験、アユの生息環境に悪影響を及ぼす諸要因の研究を行う。	農水商工部	農水商工部

政策体系コード	政策体系名称	事業名称	細事業名称	本年度事業費 (千円)	本年度県費 (千円)	事業概要(目的)	部局名称	所属名称
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	水産業技術開発推進費	資源管理に必要な情報提供事業費	1,078	539	本県沿岸の漁況及び海況を定期的に調査し、漁海況予測のための基礎資料を得るとともにその情報を関係機関に広報し、資源管理の実施推進に資する。(1)漁海況情報の収集熊野灘沿岸19測点、伊勢湾内に16測点の定点で月1回海洋観測を実施し、基礎資料を収集する。県内主要漁協の漁獲量を電話聞き取り等で収集する。(2)漁海況情報の解析得られた漁海況情報を解析し、漁海況予測を行う。(3)漁海況情報の提供漁況及び海況情報をとりまとめ、県独自の情報として漁業者及び関係機関に迅速に提供する。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	水産業技術開発推進費	資源評価調査事業費	17,407	0	200カイリ水域内における重要漁業資源の資源量評価とその動向予測及び管理手法の検討に必要な科学的情報を収集する。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	水産業技術開発推進費	日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業費	1,495	0	日本周辺水域におけるカツオ・マグロ類の資源評価に必要な科学的情報を収集し、今後想定される国際的な資源管理体制下における漁獲可能量の設定等の根拠として活用する。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	水産業技術開発推進費	標識アワビ種苗を用いた放流効果評価手法開発事業費	1,295	1,295	アバロンタグ付き種苗を用いた放流後の動態の調査手法の確立とその活用により、アワビ種苗の放流効果の向上と安定に役立てる。【課題内容】1アバロンタグを用いた放流種苗の新たな動態調査手法の確立とその活用2県内4漁場に放流されたタグ付き種苗の動態と放流効果の把握	農水商工部	農水商工部

政策体系コード	政策体系名称	事業名称	細事業名称	本年度事業費 (千円)	本年度県費 (千円)	事業概要(目的)	部局名称	所属名称
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	水産業技術開発推進費	マハタ、クエの種苗生産・養殖高度化技術開発事業費	6,528	6,528	全国的にも種苗生産技術が確立されておらず、漁獲量も極めて少ない高級魚のマハタ、クエの良質な種苗を安定的に生産できる技術を確立するとともに、養殖技術の高度化に関する技術開発を実施し、質の高い養殖魚を地域ブランドとして生産、流通させることで、地域養殖業の競争力を高めるとともに、東紀州地域の観光、交流産業の活性化に貢献する。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	水産業技術開発推進費	希少な真珠の生産技術の開発に関する研究費	2,889	2,889	現在流通しているアコヤガイ真珠の中で最高品質とされる白色系真珠の花珠(はなだま)と双璧をなす希少な真珠を生産するアコヤガイの作出技術および適切な養殖条件を明らかにすることを目的とする。 【課題内容】(1)希少な真珠の生産メカニズムの解明(2)希少な真珠生産員の作出技術の開発(3)希少な真珠生産員の養殖特性の把握	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	水産業技術開発推進費	水産業による水質浄化機能の向上技術開発事業費	4,324	4,324	閉鎖性海域における水産業は海域内の有機物を摂取して生育するノリ、貝類を漁獲しており、海域内の汚染物質を人為的に海域内に除去する機能を持っている。このことから、ノリの品種改良及び育苗再生技術等の開発、二枚貝の効果的な稚貝放流技術・貧酸素水塊によるへい死防止技術の開発、環境に過大な負荷を与えない真珠養殖技術・適性管理技術について調査研究を行い、漁業者が活用可能な技術を開発する。	農水商工部	農水商工部

政策体系コード	政策体系名称	事業名称	細事業名称	本年度事業費(千円)	本年度県費(千円)	事業概要(目的)	部局名称	所属名称
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	水産業技術開発推進費	イセエビ種苗の効率的安定生産に関する研究費	2,580	2,580	本県沿岸漁業の重要種であるイセエビの増殖技術の確立を目的として、イセエビ幼生の成長と生残の改善、効率的な飼育方法の開発、及び疾病の発生を防止するための技術の開発を行う。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	水産業技術開発推進費	熊野灘沿岸における有害プランクトン優占化機構に関する研究費	1,114	0	熊野灘沿岸域における有害プランクトンの長期的な変遷と発生環境を把握するとともに、有害赤潮のシード供給メカニズムを解明し、有害赤潮による漁業被害の防止に資する。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	水産業技術開発推進費	栽培漁業技術総合開発研究事業費	820	820	三重県におけるトラフグ、クルマエビ、ヨシエビの生態について新たな科学的知見を収集するとともに、放流適地を探索し、その放流効果についても追跡調査を行うことにより栽培漁業技術の総合的な向上を図る。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	伊勢湾海底の健康診断緊急雇用創出事業費	伊勢湾海底の健康診断緊急雇用創出事業費	39,900	0	伊勢湾における生態系の持続的活用や生物多様性保全に不可欠な生物・環境情報を得るため、伊勢湾の底質環境及び底生生物の情報を収集します。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	カワウによる被害状況県勢調査緊急雇用創出事業費	カワウによる被害状況県勢調査緊急雇用創出事業費	10,000	0	近年カワウが増え、放流アユの捕食被害や生息場での樹木の枯死、景観悪化等が問題になってます。そこで、カワウ被害の軽減対策を具体化するため、カワウの生息実態や被害状況について情報収集します。	農水商工部	農水商工部

政策体系コード	政策体系名称	事業名称	細事業名称	本年度事業費 (千円)	本年度県費 (千円)	事業概要(目的)	部局名称	所属名称
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	魚病診断カード等の電子カルテ作成緊急雇用創出事業費	魚病診断カード等の電子カルテ作成緊急雇用創出事業費	1,700	0	養殖魚の魚病診断の効率化を図るため、現在、紙ベースで保存している魚病診断カードや漁場環境データ等の情報を一元化した電子カルテを作成します。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	マアナゴ生理生態解析緊急雇用創出事業費	マアナゴ生理生態解析緊急雇用創出事業費	13,000	0	伊勢湾におけるマアナゴの生理生態を解明し、資源回復計画の効果的な推進を図るため、体組織(耳石や生殖腺等)の標本作成及びその分析を行います。	農水商工部	農水商工部
20207	農林水産業を支える技術開発の推進	マハタ・クエ人工種苗形態異常解析緊急雇用創出事業費	マハタ・クエ人工種苗形態異常解析緊急雇用創出事業費	4,500	0	マハタ・クエの種苗生産過程で発生する形態異常を把握し、種苗生産の高度化を図るため、マハタ・クエ仔稚魚の骨(軟骨・硬骨)染色の標本作成及びその分析を行います。	農水商工部	農水商工部